

2023年度 全道少年（U-12）8人制サッカー大会 兼 第20回 J A全農杯全国小学生選抜サッカー I N北海道 十勝地区予選

開 催 要 項

1. 主 旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大に努める。
2. 主 催 一般社団法人十勝地区サッカー協会
3. 主 管 一般社団法人十勝地区地区サッカー協会・十勝少年サッカー連盟
4. 後 援 (公財)日本サッカー協会・十勝教育局・帯広市教育委員会
5. 特別協賛 全国農業協同組合連合会(JA全農)
6. 協 賛 ホクレン農業協同組合連合会
7. 期 日 2022年10月8日(土)・9日(日)
8. 会 場 十勝川河川敷サッカー場
9. 参加資格
 - (1) 「参加チーム」は、今年度(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
 - (2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
 - (3) 「参加選手」は、2011年4月2日以降に生まれた現5年生以下であること。
 - (4) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、原則、内1名以上が(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)を有すること。
 - (5) 参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ていること。
 - (6) 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険等)に加入していること。
 - (7) 「参加チーム」は日本スポーツ少年団に登録したチーム及び選手であること。
 - (8) 本協会が定める新型コロナウイルス感染症対策を遵守できるチームであること。
10. 参加チーム及びその数
 - (1) 「参加チーム」の構成は、選手16名以上20名以内、引率指導者4名以内とするが、5学年だけでその人数を超えるチームはその人数まで登録を認める。
 - (2) 複数チームの参加を認めるが、5学年の人数が24名以上であることを要する。ただし、参加チーム数により日程消化が困難であると判断した場合は、複数チームの参加を認めない場合がある。日程消化が可能な申し込みチーム数に余裕があり、これを超える申し込みがあった場合は、5学年の人数が多いチームを優先する。
11. 競技規則 (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
12. 大会形式 1次ラウンドはリーグ戦を行い、成績上位の数チームが2次ラウンド(決勝トーナメント)に進む。
※ 大会形式は参加チーム数により変更あり。
13. 競技方法
 - (1) プレーの時間:36分(12分-12分-3分-12分 3ピリオド)
 - (2) インターバル(ピリオド間):第1ピリオドと第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は3分とする。
 - (3) エンドの決定:
第3ピリオドのエンドはコイントスで決定し約半分が経過したタイミングでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ねる。再開方法はキックオフとする。
 - (4) 試合の勝者を決定する方法
1次ラウンド順位は勝点(勝-3点、引分-1点、負-0点)、得失点差、総得点、対戦相手の順で決定する。ただし、同率の場合はリーグ戦終了後、PK方式で順位を決定する。
準決勝と決勝では時間内に勝敗が決しない場合は6分(3分ハーフ)の延長戦を行い、なお、なお決しない場合は試合終了時に出場している選手によるPK方式(3名)で勝者となるチームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分:PK方式に入るインターバル:1分
 - (5) 選手の交代
・競技者の数は、常に8人(内1人はGK)とする。

- ・原則、選手全員が1ピリオドを通じて出場する。
- ・第1ピリオド出場の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予め明確にする。
- ・交代要員を含め同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオドすべてに出場することはできない。事故・けが等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になった時に限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める。(延長戦はピリオドの数に含まない)

①第1ピリオド

- ・予め決められた第1ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の事故・けが等で交代する場合は交代要員が出場する。交代要員:提出したメンバー表に出場印がついていない選手。
- ・交代選手全員が事故・けが等で出場が困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場できる。
- ・交代して退いた選手は再び出場できない。(=自由な交代ではない)

②第2ピリオド

- ・予め決められた第2ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の事故・けが等で交代する場合は交代要員が出場する。第1ピリオドで交代して出場していても出場できる。
- ・交代選手全員が事故・けが等で出場が困難となった場合に限り、第1ピリオド出場予定の選手が出場できる。
- ・交代して退いた選手は再び出場できない。(=自由な交代ではない)

③第3ピリオド

- ・第1・第2ピリオドの両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員も含め誰でも出場できる。
- ・何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

③延長戦

- ・交代要員を含め誰でも出場できる。
- ・何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

(6) 交代の手続

- ・交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
- ・交代して出場する選手は、退く選手が外に出た後、交代ゾーンからフィールドに入る。
- ・交代は、インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- ・交代は、主審補助審判の承認を得る必要はない。
- ・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

(7) テクニカルエリア:設置する。

(8) ベンチに入ることができる人数:最大選手12名(例外規定あり)・指導者4名

原則2名以上の指導者がベンチに入ることを義務付けする。

(9) 審判員:主審1名、副審2名、補助審判1名の計4名で割り当てどおり審判運営を行う。

(10) アディショナルタイムの表示:実施しない

(11) ファウルと不正行為

- ・警告・退場:通常の競技規則に準ずる。
- ・退場:当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。
- ・退席処分:ベンチ(監督・コーチ・役員他)が判定に対して意義を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。

(12) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許可される引率指導者の数:2名以内

(13) 登録選手証:本大会に出場する選手は、(公財)日本サッカー協会の発行の選手証を持参すること。ただし、写真貼付による顔の認識ができるものであること。選手証とは、本大会では印刷したものを示す。本大会ではスマートフォンやPC等の場面に表示したものは、不可とする。

(14) ピッチサイズ:縦68m×横50mの大きさを使用する。

ペナルティエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールラインに直角に12m

ゴールエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールラインに直角に4m

センターサークル:半径7m・ペナルティマーク:8m

ペナルティアーク:半径7mの半円弧・フリーキック時の壁との距離7m

(15) ゴール:ゴールの内の縦2.15m、横5m

(16) ボール:4号球

(17) コーナーキック:ボールがインプレーになるまで相手競技者は7m以上離れる。

(18) グリーンカードの導入

14. ユニフォーム

(1) (公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、本項②以下については、一部、本大会の緩和規定として採用する。

(2) 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ・ショーツおよびソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。(正・副の2色については、明確に異なる色とする。)

※ なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても、同系色のユニフォームであれば着用可能とする。

(3) 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立ち合いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は登録された2組のユニフォームの内から、シャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。(ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)

(4) ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーとなる場合(逆の場合も)については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは、他の選手と区別がつくものであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。

(5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

(6) アンダーシャツ・タイツの色は問わないが、チーム内で同色のものを着用する。

(7) 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。

(8) 選手番号の参加申込締切日以降の変更は原則認めない。

(9) ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第4種部会が別途定める規定に基づくものでなければならず2022年4月25日(月)までに(公財)北海道サッカー協会に承認された場合にのみ認められる。

※ (公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を提示することが認められる。ただし、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

15. 懲罰

(1) 本大会は(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規定に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。

(2) 本大会の予選は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(3) 本大会で退場を命じられた者は、自動的に次の1試合に出場できない。

(4) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(5) 前項により出場停止処分を受けたとき、各ラウンド終了時点で警告の累積が1回のとき、または、本大会が終了した時に警告の累積は消滅する。

(6) 本大会終了時点で本地区代表の未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近の公式大会で消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(7) その他、本大会の懲罰に関する事項に関しては本大会の大会規律委員会が決定する。

16. 参加申し込み

「参加チーム」は以下の手続きを期日までに完了すること。

参加申込書提出(所定のファイル)

大会参加料(6,500円)(内連盟負担金500円を含む)の納入 申込み締切日までに下記指定口座に納入すること。

複数参加希望のチームは、申込書に2チーム目の記載をし、申込み締め切り後、参加可能と認められた場合に2チーム目の参加料を納入すること。

選手変更・追加登録は、監督会議の前日までに所定のファイルにより再提出すること。

参加申込み締切 2022年9月21日(水)17時必着とする。(以後の受付はしない)

【申込み先・申込みの問合せ】

内山 富博 (一社) 十勝地区サッカー協会 4 種事務局長

Eメール: std.21u@gmail.com 携帯: 080-5582-1998

【競技事項の問い合わせ】

宇野 和哉 (一社) 十勝地区サッカー協会 4 種委員長

Eメール: monpy@sea.plala.or.jp 携帯: 090-2814-2267

会参加料等振込口座(振込用紙に必ず大会名、チーム名を記載すること)

銀行名: ゆうちょ銀行

口座番号: 02730-8-39544(郵便振替口座)

口座名: 十勝少年サッカー連盟

17. 組合わせ

監督会議において抽選し確定する。

18. 帯同審判

出場チームは(公財)日本サッカー協会審判員(3級以上)を1名以上帯同させること。

帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込み書に記載すること。

帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとし、主審は(3級以上)の者が行い副審、補助審は(4級以上)のものが行う。チーム役員を兼ねる場合は審判業務を最優先する。(3級以上)を帯同できない場合は、申込み締切日までにより下記まで連絡し、不帯同料として1試合毎3,000円を大会当日の朝、大会本部に納入すること。

【審判に関する問い合わせ】

喜多 翼 (一社) 十勝地区サッカー協会 4 種審判委員長

Eメール: tsubasa_n1m1m1s3@yahoo.co.jp 携帯: 090-2076-8786

19. 監督会議

2022年9月30日(金) 19時 ZOOMオンラインによる監督会議

監督又はそれに準ずる者が出席すること。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。

20. 開会式

行わない。

21. 閉会式

2020年10月9日(日) 時間未定 準決勝進出4チームの出席とする。

(大会形式及び参加チーム数により表彰規定変更の場合あり)

22. その他

- (1) 選手証は大会初日、当該チーム試合前に確認する。

写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

大会初日、自チームの第一試合開始前に確認を受けること。

※選手証とは、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものに限る。

スマートフォンやPC等の画面に表示したものは認めない。

- (2) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。

- (3) 大会参加にあつては指導者、後援会を問わずプレイヤーズファーストの理念の基に「大会参加にあつての注意事項」を遵守しなければならない。

- (4) 荒天・震災・雷等、不足の事態が発生した場合は主管地区協会4種委員会(4種委員長、副委員長、事務局長、審判委員長などで構成)において協議のうえ対処する。

中断・中止・延期することがあるので留意のこと。

- (5) 観客席は選手席のコートを挟んだ向かい側に限定する。

※観戦できるのは当該チームの関係者のみとする。

※有観客の実施下にあっても声を出した応援はしないこと。

- (6) 父母席(観客席)からのサイドコーチングを禁止する。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては無観客試合での実施とする。その場合については、指定されたもの以外が大会会場に立ち入らないよう、十分情報を共有すること。(選手の同居家族以外についても同様の共有を図ること)

- (7) 対戦チームに試合を開始できない瑕疵が生じた場合は対戦チームを0-5の不戦敗とする。

- (8) 本開催要項にない事例に関しては主管地区協会4種委員会において判断し対処する。

- (9) 全道大会 2023年4月 場所 未定

- (10) 本大会は大会期間を通じて新型コロナウイルス感染症対策として、以下の対応をとるものとする。

- ①本大会実施にあたり、最新版（公財）北海道サッカー協会発出「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」を遵守し、参加選手および関係者はチェックリストによる確認を行う。
- ②各チームは感染対策担当者を1名配置し、健康チェックシートの提出をはじめ、感染対策に関わる全般の対応にあたる。
- ③選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者と会場責任者とでミーティングを実施する。
- ④大声を出すなどの応援はご遠慮ください。
- ⑤ソーシャルディスタンス及びマスクを着用願います。アルコール消毒・検温にもご協力ください。
- ⑥新型コロナウイルス感染症の拡大による制限などにより、無観客開催、試合の中止、日程延期などの場合がありますのでご了承ください。